

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等ディサービス おひさま八幡事業所			
○保護者評価実施期間	令和6年 1月 4日 ~ 令和7年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24世帯	(回答者数)	17件
○従業者評価実施期間	令和6年 1月 4日 ~ 令和7年 1月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 3日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々のスケジュールは、視覚的に明確化していますが その日、その時の利用児様の状況や状態に応じて 臨機応変に対応しています。	余暇支援の強化 ※一人一人、興味関心は違っている為 誰もが 関われる遊び等の準備をしています。 ※次回のご利用日を楽しみに期待を持って頂けるよう 様々な遊び中から選択できるように配慮しています。	・地域との繋がりなどにも、力を注いで 行きたいと思います。 ・近隣の児童クラブ等とも繋がりを持ち 関係性を深めていきたいです。
2	活動等に於いても、決して無理強いする事はなく 楽しい気持ちで取り組んで頂ける配慮をしています。 ※得意な事、苦手意識が強い事等、あって当然なので 本児の思いに寄り添い、認め、受け入れ 選択肢を提示しています。	職員間では、ご利用児様に対して、決して 否定的な言葉は、使わないようにしています。	・不定期ですが、通信等のお便りの配布で、保護者様に 日々の支援状況をお伝えしていますが、 さらに配布頻度を高めたいと思います。
3	・言語聴覚士による、定期的な個別指導や療育 また、職員研修などを実施しています。	利用児様の様子や状態によって、活動計画以外の 事柄であっても、最大限に受け入れる体制を作っ ています。 また、利用児様からの意見や要望など可能な限り 実現できるように努めています。	・年に1度程度ですが、保護者会を企画し開催しています。 参加者はある程度固定化しているように思える為 リクレーション等も取り入れ参加者に魅力的な会の 開催をご案内できるようにしたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・立地的に閑静な住宅地にある為、近隣への配慮から 戸外遊びが気軽に出来ず、外出の際には、車移動が主 となってます。	・立地の問題に関しては、近隣の方々にご迷惑の掛から ないよう、当事業所での出来る限りの配慮を 求められると考えます。 今後も、近隣への配慮を怠らず、良好な関係で 過ごせるように心配りをしていきます。	・事業所で、通常とは異なるイベント等 計画する場合は 前もって近隣の方々にお手紙等でお知らせをして います。 ・学校の長期休みや、事業所のお休み（お盆・お正月 ゴールデンウイーク）の際 お知らせしています。
2	・常勤雇用として、OT PT ST 配置ができるおらず 外注での依頼でSTさんにお越し頂いています。 支援の指導・助言・ご利用者様の発達検査等 お願いしています。	・専門性の高いより良い支援に繋げていきたいと 思っています。職員研修を実行し、実践できる体制を 整え、職員間の良好なコミュニケーションを構築して いく事が大切です。 ・事業所内の良好な人間関係を保ち 良い支援に繋げて いきます。	・現在お越し頂いているSTさんに ご利用者様と さらに しっかりと関わって頂き 当事業所の職員と 共に、ご利用者様の成長を見守っていきたいと 思っています。
3	・地域連携等、地域との関わりが希薄です。 ・積極的に、関われる手段を模索しています。	・民生委員・社会福祉協議会等、積極的に関わりを持ち 地域連携や地域参加行事等の情報収集に努めます。	・民生委員・社会福祉協議会等、積極的に関わりを持ち 地域連携や地域行事への参加の情報収集に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等ディサービス おひさま八幡事業所	公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	工夫している点 遊び・学習・療育（個別と集団）また、おやつなど、スペースを分けることができている。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	85%	課題や改善すべき点 ギリギリの人数で業務している為、体調不良等でのお休みが厳しいのが現状です。求人を出していますが、なかなか難しい。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	71%	下校→学習→おやつ→自由遊び→活動→自由遊び→終わりの会スケジュールと動線を把握できている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	清潔で心地良く過ごせるようにしっかりと清掃している。 特に、休みの前日は通常よりも力を入れている。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	静養室等もあり 刺激を受け難い環境を用意できる、また、パーティションやイヤーマフを利用する事もある。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	85%	評価表のみならず、日々の送迎時や定期的な面談時においても、保護者様のご意見ご要望は伺っている
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	定期的に行っている。日々の支援での振り返り等、必ず行い 次の支援に繋げている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	42%	支援内容等について 外部業者（言語聴覚士）に、お越し頂きご意見等、伺う機会がある
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	85%	管理者・児童発達支援管理責任者が定期的な、研修・地域部会に参加し、事業所間の繋がりを大切にしている。
適切なき	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	85%	法改正により来年度から義務化されている。作成しているので公表する。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	100%	定期的な、面談では 事業所へお越し頂くかご自宅へ伺いアセスメントを行っている。
	13 放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	85%	個別支援計画作成時等 モニタリングから支援計画作成会議まで、しっかりと関わり意見交換の場を設けている。
	14 放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	モニタリングや、支援計画書作成会議を開き、全職員の意見等、聞いている
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	85%	職員間で共有し 話し合いの場を設け一貫した支援に繋げている
	16 放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	法改正により、個別支援計画に記載事項についての変更が多々あり、今年度から国の方針に従い必要項目に応じた計画を立てている
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	日々の活動については、担当職員が立案し、計画 準備をしますが、大まかな流れに

支援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		ついては、職員全員で検討している。 固定化しないように、創意工夫をしている	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	71%		個別活動に関しては、静かな環境を提供し職員と1対1での活動により以外な思いや考えを聞く機会となっている	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		話し合いの基、役割分担や、配置など細かく、打ち合わせをしている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		日々の活動についての反省会や振り返り等 細かく行っている	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		保護者様との連絡帳等にて、日々記録している	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		全職員共通認識を深める為、また職員からの意見を聞く為 定期的にモニタリングしている	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%		意識して、取り組んでいる	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	85%		当日の活動以外に、個別課題を対象児童に応じて手作りし、選択できるよう配慮している	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	85%		相談支援員に働きかけ、学校の先生とも時間調整し児発管、または管理者が出席している	
関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	71%		福祉ボランティアの方にお越し頂き車椅子体験・アイマスク体験等活動に取り入れている	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	85%			下校時間の把握等、学校のホームページで確認しているが、急な変更など、保護者様からの情報が届き難い現状がある
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	57%			就学前の情報については、保護者様から何うのみの対応となっている
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	57%			今のところ、学校の卒業生の御利用はない
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	41%			研修等で話を聞く機会のみである。ただ、定期的に言語聴覚士の先生にお越し頂き、指導・助言を頂いている
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	57%			児童クラブへの送迎時 クラブ職員と情報共有しているが十分とはいえない
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	85%		児童発達支援管理責任者と管理者で毎回、参加している	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	85%		フィードバックや定期的に面談を行い共通理解を図っている	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	42%			保護者様とは、送迎時に話しているがご家族が参加できる研修の機会への情報提供はできていない
支援の実現	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	85%		法改正時・または、契約時に伝えている	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	85%		契約時・または、支援計画更新時保護者様やご本人から意向を確認している	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	85%		契約時、または計画更新時には計画作成者（児発管）が説明した上で署名を頂いている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		支援計画更新のタイミングや、送迎時の会話の中で助言・アドバイスなどしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		保護者会を実施し保護者様間の交流の機会を設けている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			今のところ、苦情はない
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		ほぼ毎日インスタグラム更新し活動の様子を発信し、不定期で通信等、配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		個人情報保護の観点からも細心の注意を払っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14%			ご近所様へは、何かしらの情報発信はしているが、地域への開かれた事業所とはいえない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	90%			マニュアル作成し職員間での周知はできているが、ご家族様への周知が徹底されていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		定期的に災害訓練等実施している。また、消防署員様にお越し頂き訓練についてのご指導・ご助言を頂いている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			しているが、今のところ、該当者なし
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%			該当者なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画のもと、支援にあたっている。また、外出の際には	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		計画を立て 保護者様にお伝えし危険個所等、確認している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハット事案が発生した時は文章として記録に残し職員間で再発防止について検討会を設けている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		定めるところの研修・委員会を開催し、職員間で周知徹底している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		定めるところの研修・委員会を開催し、職員間で周知徹底している	

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		放課後等デイサービス おひさま八幡事業所						
		公表日 年月日						
		利用児童数 29名 24世帯						
		回収数 17世帯						

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	93%			5%		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95%			2%		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	88%	1%	1%	10%	・詳細は不明ですがしてくださっていると、思います。	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	94%	1%				
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	95%			2%	・してくださっていると思います。	
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	100%				・安心感を持って活動出来ています。 ・いつも、楽しみにしています。 ・大好きな場所です。	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%				・とても楽しみにしています。 ・たまに、女の子がいなかつたと残念そうです。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	100%				・いつもありがとうございます。 ・とても満足しています。	